
[成果情報名] キャベツ・レタスの収穫出荷予測ツールの開発

[要約] 露地野菜のキャベツとレタスの定植から収穫までの日積算温度を基に作成した収穫出荷予測ツールを利用することで、収穫の3～4週間前に収穫日を予測できる。

[キーワード] メッシュ農業気象データ、キャベツ、レタス、日積算温度、収穫出荷予測

[担当部署] 豊前分場；野菜水田作チーム

[連絡先] 0930-23-0163

[対象項目] 野菜

[専門項目] 栽培

[成果分類] 技術改良

[背景・ねらい]

露地野菜のキャベツ、レタスでは、経営を安定化させるために業務・加工用の契約栽培への取り組みが増えており、生産組織や大規模農家からは出荷開始日や出荷量を把握するための実用的な収穫出荷予測技術が求められている。

そこで、計画出荷を支援するため、農研機構開発のメッシュ農業気象データシステムを利用して本県に適応する収穫予測技術を開発する。

[成果の内容・特徴]

1. メッシュ農業気象データを利用して作成した収穫出荷予測ツール（Microsoft Excel ファイル）は、キャベツ 13 品種とレタス 9 品種に適用できる（表 1）。
2. 収穫出荷予測ツールは、定植前、結球初期および収穫予測日の 3～4 週間前に、メッシュ農業気象データの平均気温の平年値と予報値、品種、熟期、定植日および収穫開始球重などを入力し、定植から収穫までに要する日積算温度を算出することにより、収穫日を予測する（図 1）。
3. 収穫の 3～4 週間前に収穫日を予測することが可能で、実際の収穫開始日との差は 0～5 日である（図 2、データ略）。

[成果の活用面・留意点]

1. 収穫出荷予測ツールは、作付計画の作成、収穫作業の労務管理および販売先への出荷時期の提示などに活用できる。
2. 収穫出荷予測ツールは、総出葉数と球重の関係、総出葉数と定植から収穫までの日積算温度の関係を基に作成したものであり、試験場から入手できる。
3. 新しく作付けする品種は、総出葉数、球重、日積算温度を調査することにより、収穫出荷予測ツールに追加できる。
4. メッシュ農業気象データシステムの利用にあたっては、農研機構への利用申請が必要である。

[具体的データ]

表 1 収穫出荷予測ツールの適用品種等

品目 (収穫時期)	熟期	品種
キャベツ (11~3月収穫)	早生	おきな、かんろく
	中早生	彩風、YR若虎
	中生	YR冬どり錦秋、YR銀次郎
	中晩生	YR冬親方、夢舞台、YR冬勝利、彩音、YR冬まさり
	晩生	冬のぼり、夢ごろも
レタス (10~3月収穫)	極早生	しずか
	早生	エムラップ231、タフV
	中早生	マイヤー、オーディブル、パワースイープ
	中生	レガシー、ツララ、ステディ

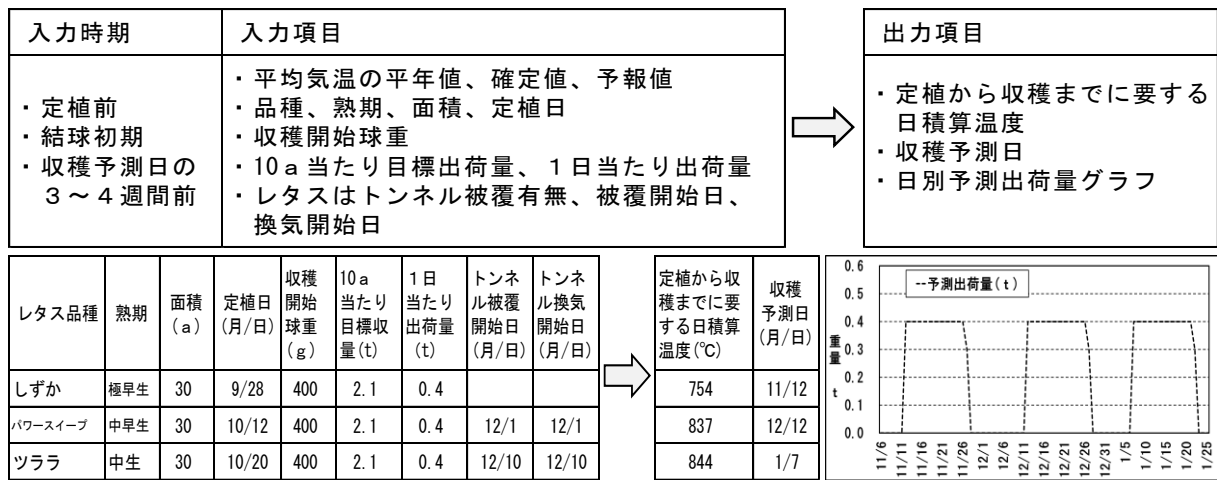


図1 収穫出荷予測ツール利用のフロー

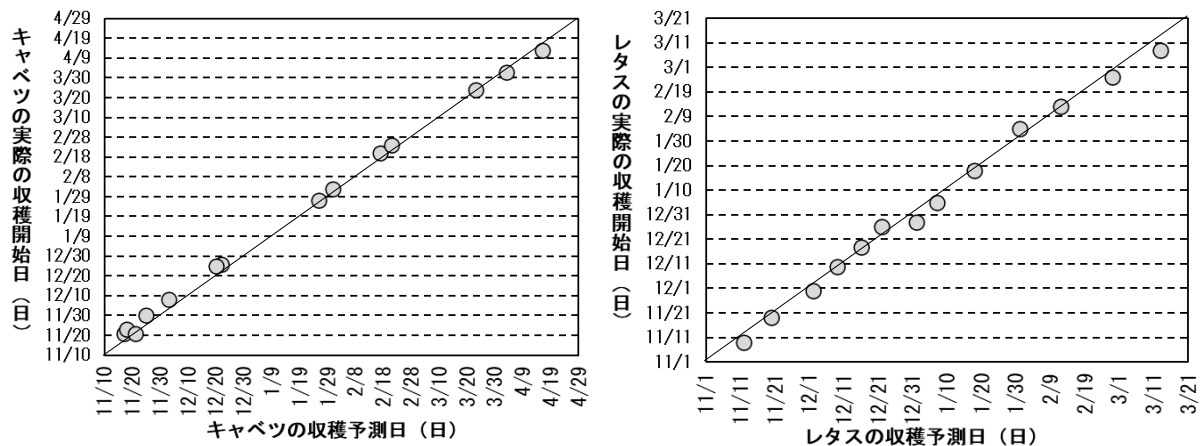


図2 キャベツとレタスの収穫予測日と実際の収穫開始日

注) 1. キャベツは上毛町の12品種 8/24~10/1定植の14作型で検証
 2. レタスは築上町の5品種 9/29~11/20定植の13作型で検証

[その他]

研究課題名：露地野菜のメッシュ農業気象データを利用した生育予測技術の開発

予算区分：経常

研究期間：令和4年度 (令和2~4年)

研究担当者：田中良幸、柴戸靖志、佐伯由美